

〔様式2〕

小山城南中ブロック 小中一貫教育基本カリキュラム

■ 目指す児童生徒像

- ①自ら学ぶ子ども（知育）
- ②思いやりのある子ども（徳育）
- ③健康な子ども（体育）

視点2「9年間を見通したカリキュラムを編成する」

■ 重点化を図る教科等

自学力（自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら判断し、自ら表現する力）

■ 小中一貫教育の視点から考える指導区分に応じた育てたい力・重点をおく指導内容等

		A 前期(小学1年～小学4年)	B 中期(小学5年～中学1年)	C 後期(中学2年～中学3年)
		基礎・基本期	習熟・接続期	充実・発展期
育てたい力		つなげる 生活・学習習慣を身に付けさせ、自尊感情を育てる。	深める 自ら学習できる力を身に付けさせ、他尊感情を育てる。	高める 確かな学力による自己表現力を身に付けさせ、互尊感情を育てる。
	重点をおく指導内容・具体策	わかる授業 1 めあての理解 ・めあてを理解する。 ----- 2 自己表現 ・大きな声で返事・発表をする。 ----- 3 他者理解 ・友達の発表をよく聞いて比べる。	・学習課題を理解する。 ・友達に伝わるように、ノートにまとめ、発表する。 ・友達の発表をよく聞き、自分の考えを深める。	・学習課題を既習内容との関連で理解する。 ・自分の考えを、場に応じた方法で発表する。 ・聞き取った内容を評価し、自分の考えを高める。
		小山城南中ブロック「学習の約束」(別紙)		
		各教科ごとの重点指導内容(別紙)		
特別活動等		1～4年 ・年度当初に、学年の学習について知り、目標を立て、意欲を高める。 ・学期末には、それぞれの学期の学習について振り返り、来学期には、新たな目標を立てる。 ・長期休業中の学習計画を立てる。 ・家庭学習の進め方を知り、学習習慣を身に付ける。 ・自主学習の進め方を知り、学習の計画を立てる。 (4年)	5・6年 ・年度当初に、学年の学習について知り、目標を立て、意欲を高める。 ・学期末には、それぞれの学期の学習について振り返り、来学期には、新たな目標を立てる。 ・長期休業中の学習計画を立てる。 ・学習の仕方を見直し、家庭学習に工夫して取り組む。 ・中学校の学習・生活について知り、準備をする。(6年) 中1 ・中学校で学ぶことを知る。 ・教科ごとの予習・復習の仕方を身に付ける。 ・なぜ学ぶのか、考える。	中2 ・中学生生活充実のための重要性を知る。 ・なぜ学ぶのか、考える。 ・自ら学習課題を見つけ、解決の仕方を考える。 ・効果的な学習法を知る。 ・卒業後の様々な学びの道を知る。 中3 ・進路選択の準備をする。 ・将来のための学習プランを立てる。 ・学習の進め方を確認する。 ・学習の悩みを解決する。
家庭学習		[教師が出した問題を行う段階] ・学習習慣を身に付ける。 ・基礎学力を身に付ける。	[教師の指導のもと、自主学習の計画を立てて実行する段階] ・学力を伸ばす。 ・既習事項のつまづきや課題を克服する。	[教師の指導がなくても、自分で学習計画を立てて、実行する段階] ・問題解決力を高める。 ・自己学習力(自学力)を身に付ける。
		家庭学習のシステム(別紙)		